



## ルータの設置

---

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#) (1 ページ)
- [安全に関する情報](#) (1 ページ)
- [機器、工具、接続手段](#) (2 ページ)
- [ルータの設置](#) (3 ページ)
- [壁面、卓上、またはその他の平面への設置](#) (3 ページ)
- [DIN レールの取り付け](#) (5 ページ)
- [ルータのアース接続](#) (13 ページ)

## 概要

このセクションでは、Cisco IR1800 シリーズルータを正しく設置するために必要な機材と実行する手順について説明します。

## 安全に関する情報



---

**注意** 暖房機器の排気口など、熱源のそばにルータや電源装置を設置しないでください。

---



---

**警告** 本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。 **Statement 9001**

---



---

**警告** 内部にはユーザが保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。 **Statement 1073**

---



- (注) 水平方向または垂直方向のいずれに取り付ける場合も、製品のすべての側面に少なくとも1インチの隙間を空ける必要があります。ルータ上部に熱を放散する物体を載せないでください。ケーブル接続へのアクセスに必要なため、I/O側の隙間が必要です。DIN レールブラケットと壁面用マウントブラケットを取り付ける際、隙間を空ける必要があります。

## 機器、工具、接続手段

このセクションでは、Cisco IR1800 の設置に必要な機器、工具、および接続について説明します。



- (注) IR1800 シリーズ ルータにアンテナは付属していません。

## ルータの付属品

箱を開けて、請求書に記載されているすべての品目がCisco IR1800 に同梱されていることを確認します。

次の項目がルータに付属しています。

- ポインタ カード
- アース ラグ キット
- 電源コネクタ

## その他の必要な部品

ルータを設置するには、ルータの付属品以外に、次のものをご用意ください。

- 静電気防止用コードとリストストラップ
- シャーシのアースに使用する圧着工具
- シャーシに接続するアース線。
- イーサネット WAN ポートおよび LAN ポート接続用のイーサネットケーブル。
- 最大 15 インチポンド (1.69 N-m) の圧力を加えられるラチェットトルク マイナス ドライバ。
- No.1 プラス ドライバ。
- No.2 プラス ドライバ。

## ルータの設置

この項では、IR1800 シリーズ ルータを設置する方法について説明します。このルータは、次の方法で設置できます。

- テーブル上
- 水平な平面
- 壁面への取り付け
- DIN レールの使用



(注) NEC 準拠の接地を行うためには、16awg (1.5mm<sup>2</sup>) 以上の銅線と内径 6～7 mm (1/4 インチ) の丸端子を使用してください。

## 壁面、卓上、またはその他の平面への設置

Cisco IR1800 は、垂直方向または水平方向に取り付けることができます。ネジを使用して壁面のスタッドに取り付けるか、アンカーマウントを使用して中空の壁面に取り付けることができます。



ヒント 壁に取り付ける場所を決める際には、ケーブルの制限と壁の構造を考慮し、事前に適切なアンテナの位置を検討してください。



警告 壁面への設置手順をよく読んでから、設置を開始してください。適切なハードウェアを使用しなかった場合、または、正しい手順に従わなかった場合は、人体に危険が及んだり、システムが破損したりする可能性があります。 **Statement 1094**



(注) 適切なエアフローを可能にするため、設置の際、製品のすべての側面に少なくとも 1 インチの隙間を空ける必要があります。

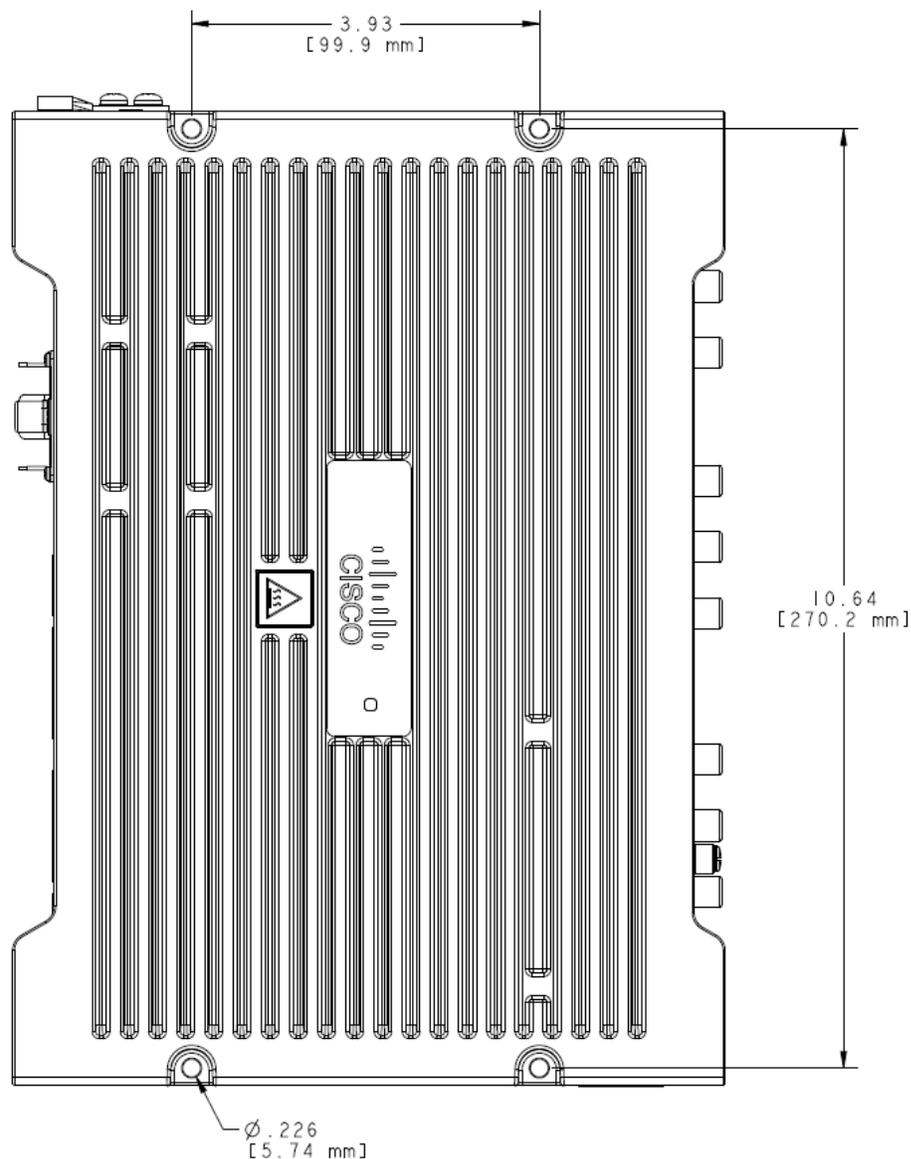
ルータを壁面その他の平面に取り付けるには、次の手順に従ってください。

### 手順

**ステップ 1** ガイドとして次の図を使用して、デバイスを取り付ける領域の寸法を測ります。

(注) 次の図は、縦位置での取り付けを示しています。この方向はサポートされています。ただし、横位置での取り付けが推奨されません。

図 1: 取り付け穴の寸法



(注) ルータを適切な壁面構造に取り付け、デバイスの重量を支えます。できる限り、ネジが壁面の間柱に固定される取り付け場所を使用します。

**ステップ 2** ユニートを隣接する面に取り付ける場合は、4本の#10ネジを使用します。ネジの長さは、支えとなる木製または金属製のスタッドに、1.0インチ (25.4mm) 以上差し込めるだけの長さが必要です。ガイダンスについては、次の図を参照してください。

図 2: 取り付け穴



**ステップ 3** コネクタまたは取り付け金具を引っ張らないようにケーブルを配線します。

(注) デバイスを中空の壁に取り付ける場合は、壁の素材がルータの重量を支持できることを確認してください。適切な壁面アンカーマウントを使用してください。

## DIN レールの取り付け

DIN レールキットは別途ご注文いただく必要があります。シスコの製品番号はIR1800-DINRAILです。

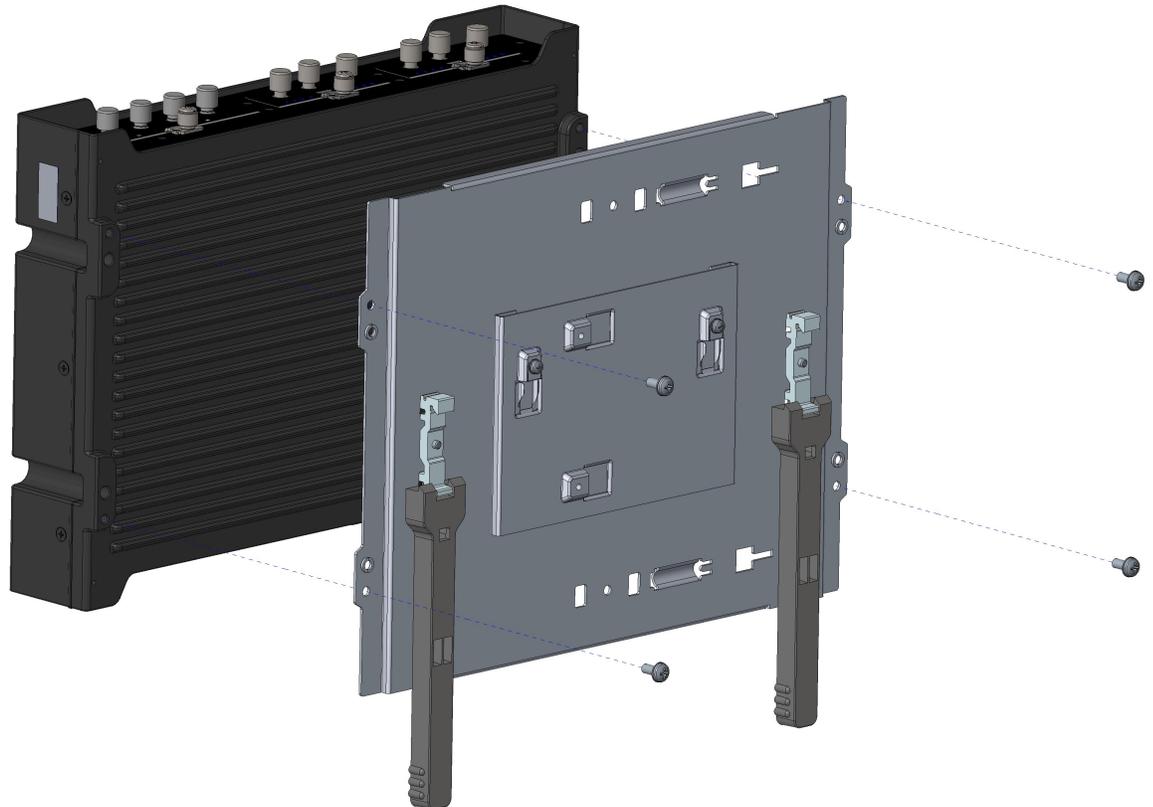


(注) DIN レールブラケットは水平方向に組み立てられています。垂直方向での設置が必要な場合は、コンポーネントを分解して再度組み立ててください。

## ルータへの DIN レールブラケットの取り付け（水平）

### 手順

**ステップ1** 次の図に示すように、ルータの背面に DIN レールブラケットをあてます。

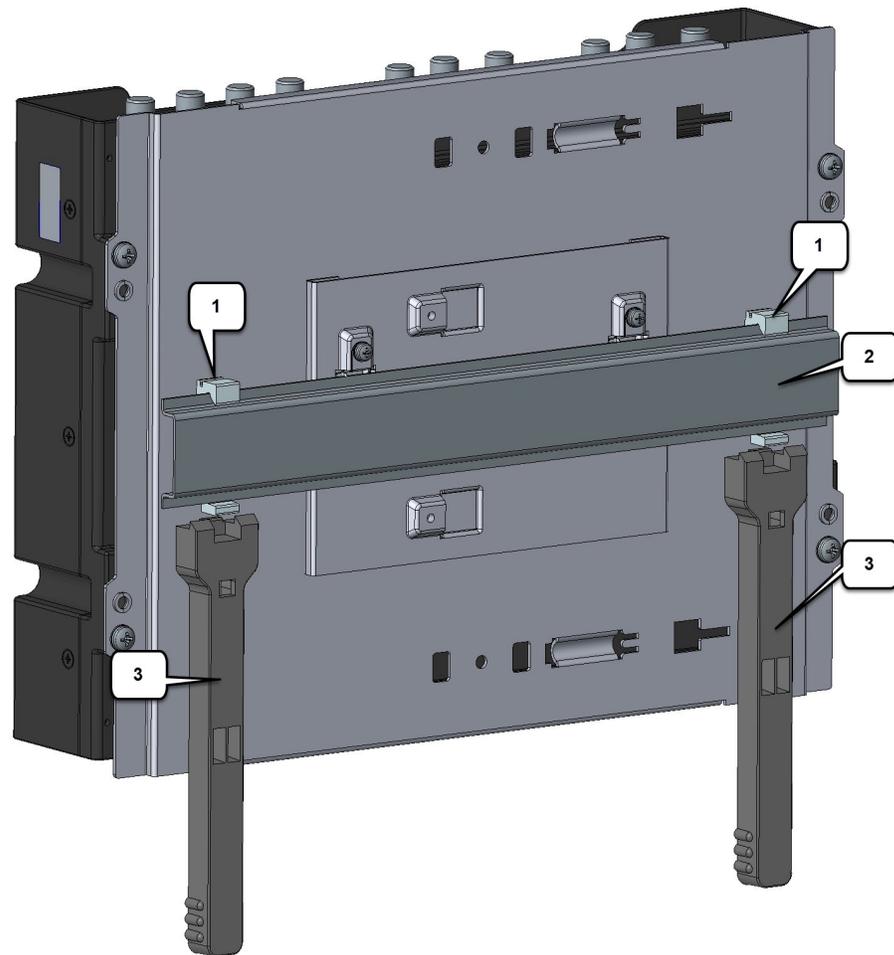


**ステップ2** キット付属の4本の8-32ネジを使用して、DINマウントブラケットをルータに取り付けます。4つの取り付け穴にブラケットを合わせ、ブラケットからシャーシにネジを差し込みます。次に、14インチポンドのトルクをかけて、ブラケットをルータにネジ留めします。

**ステップ3** ブラケットを取り付けたら、DIN レールにルータを設置する準備は完了です。

## DIN レールへのブラケットの取り付け

ブラケットを使用して Cisco IR1800 を DIN レールに取り付けるには、次の図と指定の手順に従ってください。



1	クランプ
2	DIN レール
3	プラスチックラッチ

### 手順

- ステップ 1** DIN レール (2) の上端に DIN レールブラケットのクランプ (1) がひっかかるようにルータを置きます。プラスチックラッチが固定されている間、製品重量がフックに一時的にかかる可能性があります。
- ステップ 2** 2つのプラスチックラッチ (3) を同時に引き下げ、DIN レールの上下の端がクランプ内に収まるように DIN レールブラケットの位置を調整します。
- ステップ 3** DIN レールがクランプ内にしっかりと固定されたら、プラスチックラッチを解除します。これでルータは DIN レールに取り付けられました。

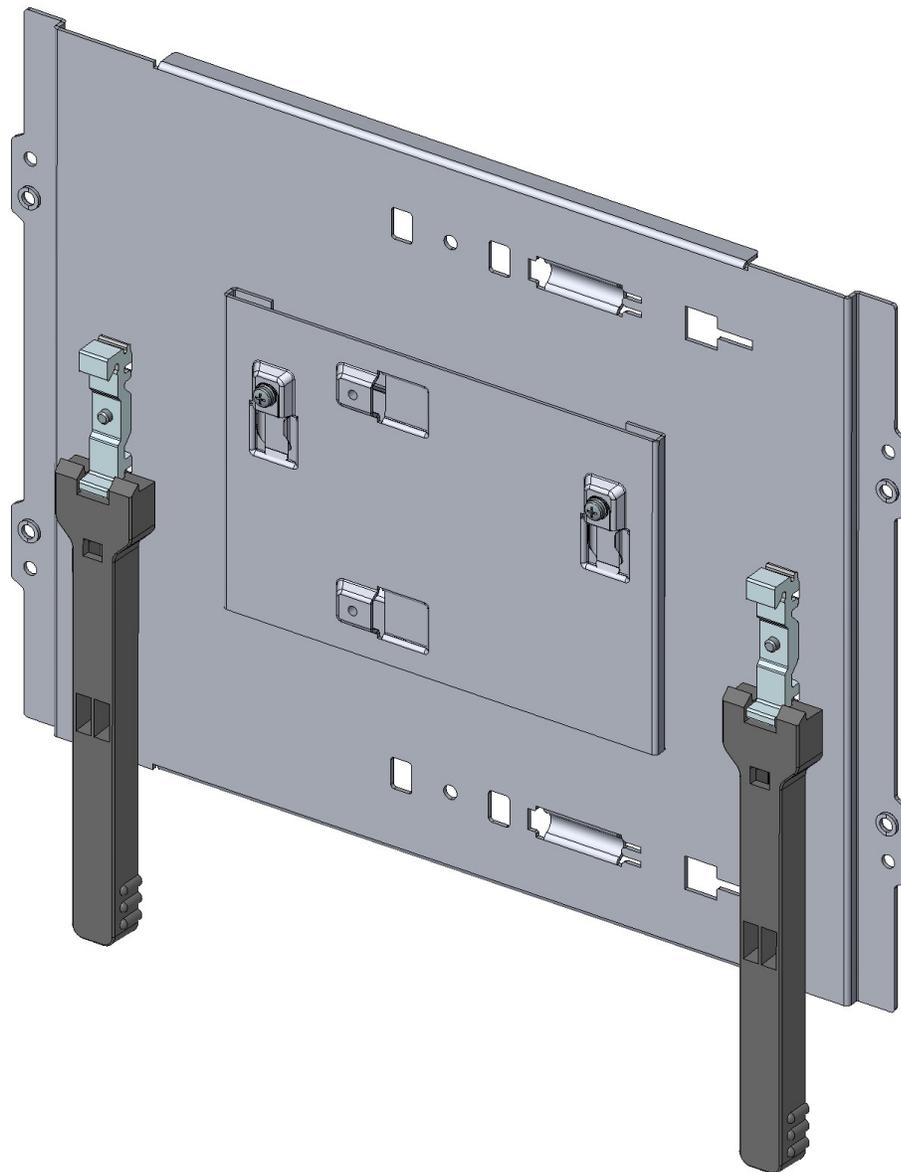
ステップ4 DIN レールからルータを取り外すには、この手順を逆に実行します。

## ブラケットの向きの変更

DIN レールブラケットは、水平取り付け位置の状態出荷されます。デバイスを垂直方向に取り付けるには、ブラケットハードウェアを分解し、新しい方向に再度組み立てます。

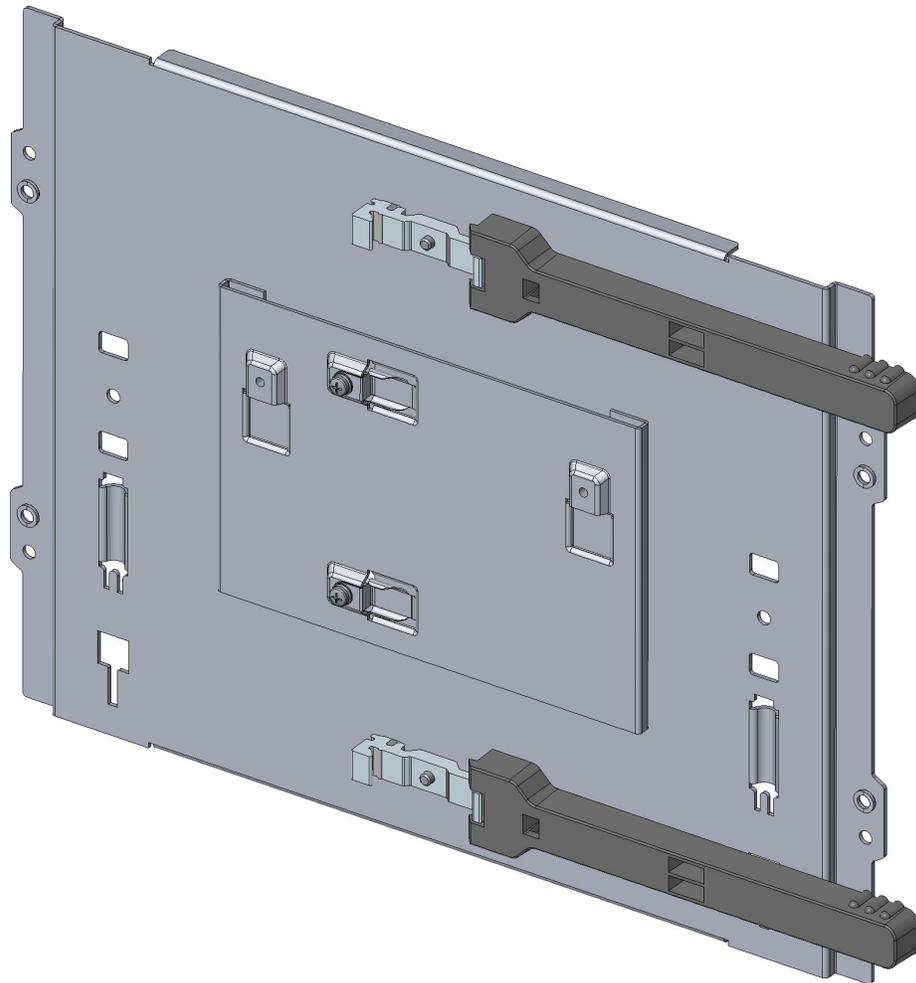
次の図に、水平方向の状態を示します。

図 3: 水平方向



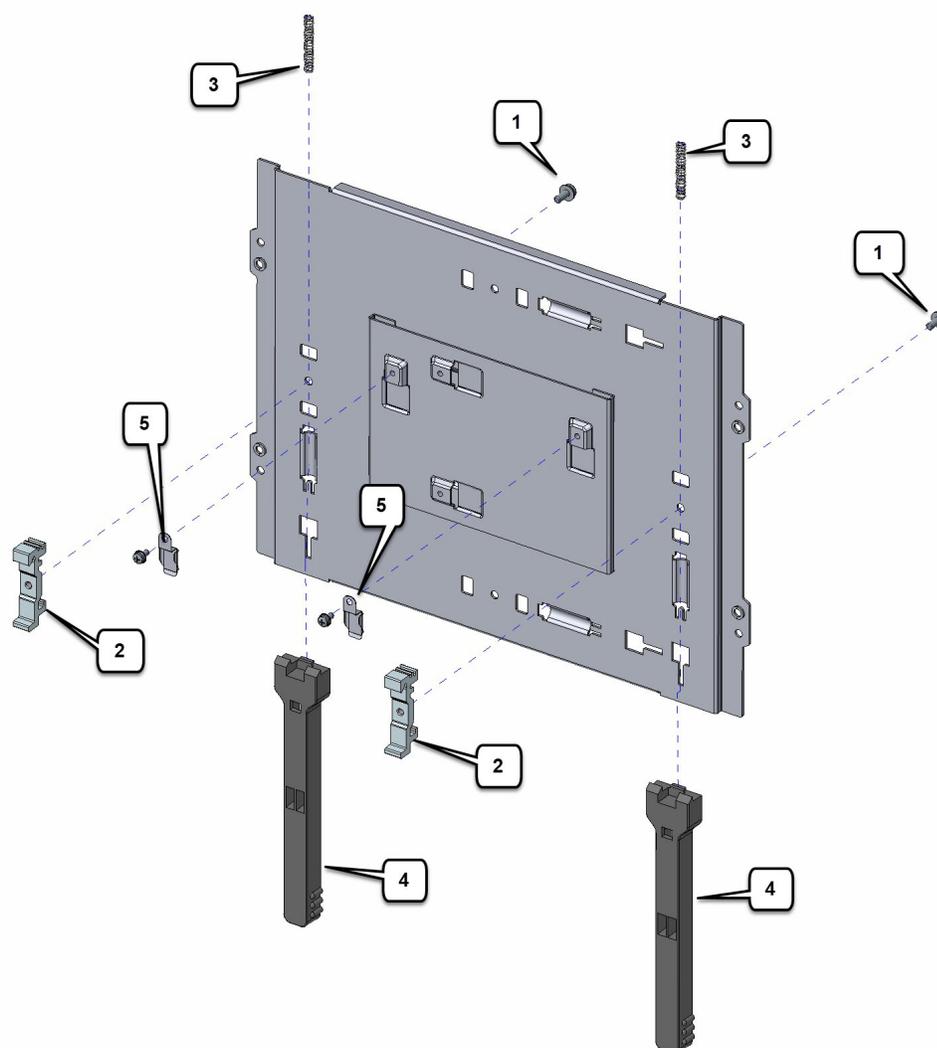
次の図に、垂直方向の状態を示します。

図 4: 垂直方向



## ブラケットの分解

ブラケットハードウェアを分解するには、次の図を参照し、指定の手順に従います。



1	ネジ
2	DIN レールクランプ
3	スプリング
4	プラスチックラッチ
5	DIN レールクリップ

## 手順

**ステップ1** 2つのDIN レールクランプ (2) を固定している2本のネジ (1) を取り外します。

**ステップ2** DIN レールクランプ (2) をスライドさせてプラスチックラッチ (4) から離して取り外します。

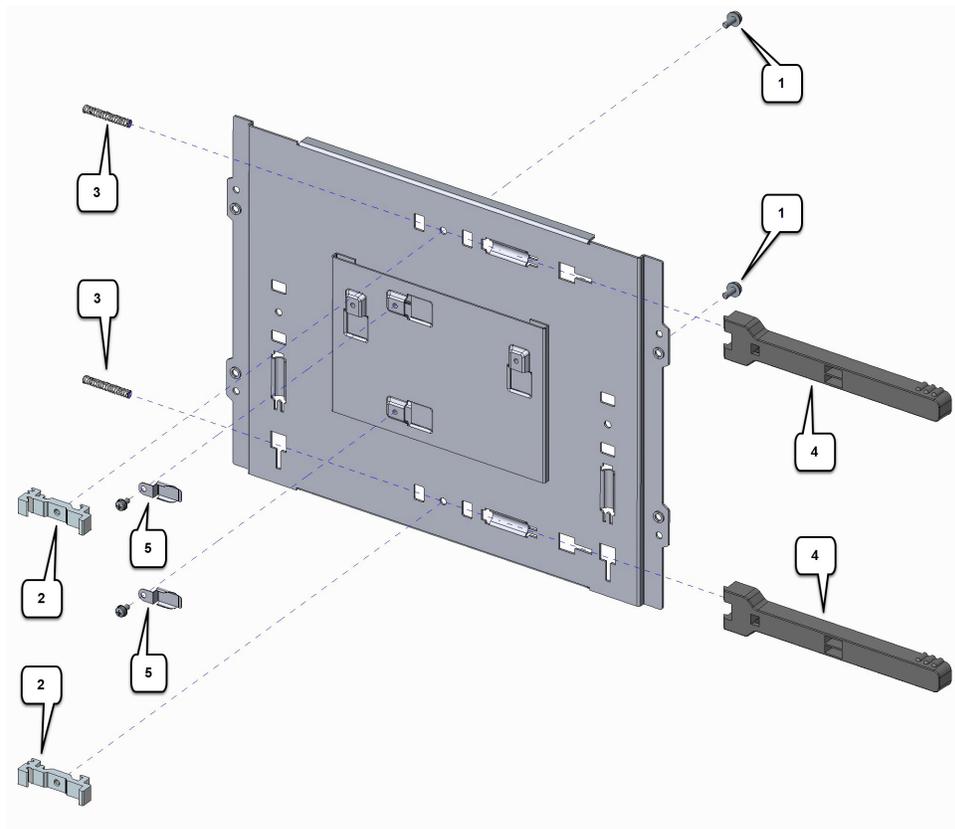
**ステップ3** プラスチックラッチ (4) をスライドさせて DIN レールプレートから外し、2つのスプリング (3) を取り外します。

**ステップ4** 取り付けブラケットから2つの DIN レールクリップ (5) を取り外します。

**ステップ5** 注：垂直方向に取り付ける時に再利用できるように、すべてのコンポーネントを保管してください。

## ブラケットの再組み立て

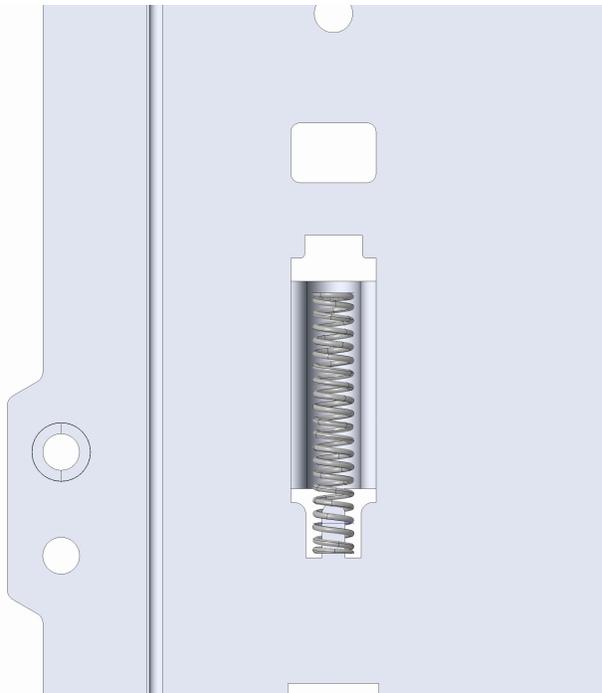
次の手順は、垂直方向で使用できるように、すべてのブラケットコンポーネントを再度取り付けする方法を示しています。次の図を参照し、指定の手順に従ってください。



1	ネジ
2	DIN レールランプ
3	スプリング
4	プラスチックラッチ
5	DIN レールクリップ

## 手順

ステップ1 薄いタブに2つのスプリング (3) をスライドさせます。



ステップ2 プラスチックラッチ (4) をスプリングの上から後方にスライドさせ、DIN レールプレートの開口部に差し込みます。

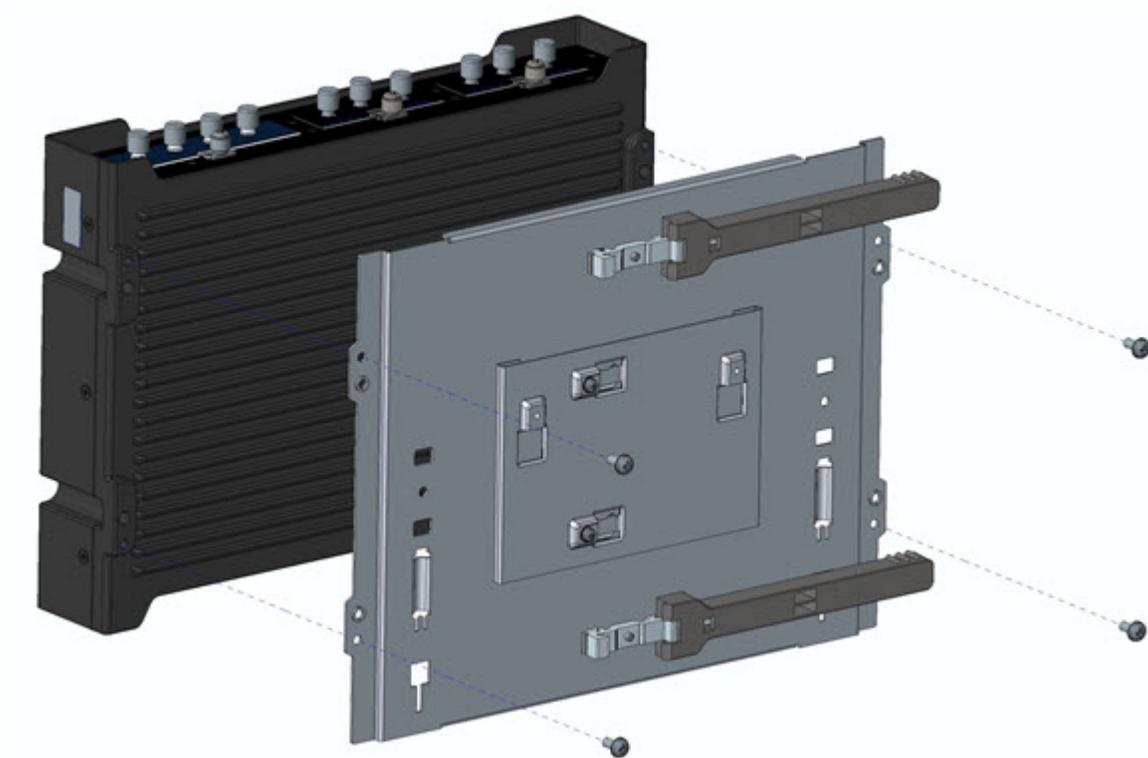
ステップ3 各プラスチックラッチ (4) を後方に押し、DIN レールプレートの開口部に DIN レールクランプ (2) を挿入します。12 インチポンドのトルクをかけて、各クランプをネジ (1) で固定します。

ステップ4 9 インチポンドのトルクをかけて、2つの DIN レールクリップ (5) を垂直方向で取り付けブラケットに再度取り付けます。

## ルータへの DIN レールブラケットの取り付け（垂直）

## 手順

ステップ1 次の図に示すように、ルータの背面に DIN レールブラケットをあてます。



- ステップ2** キット付属の4本の8-32ネジを使用して、DINマウントブラケットをルータに取り付けます。4つの取り付け穴にブラケットを合わせ、ブラケットからシャシにネジを差し込みます。次に、14インチポンドのトルクをかけて、ブラケットをルータにネジ留めします。
- ステップ3** ブラケットを取り付けたら、DIN レールにルータを設置する準備は完了です。

## ルータのアース接続



**警告** この装置は、放射およびイミュニティに関する要件に準拠するために接地されていることが前提になっています。通常の使用時には、必ずスイッチのアースラグがアースされているようにしてください。 **Statement 2004**



**警告** この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはつきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。 **Statement 1024**



- (注) ケーブル配線システムは、ANSI/NFPA 70、National Electrical Code (NEC)、特に 820.93 項「Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable」に従って接地（アース）する必要があります。

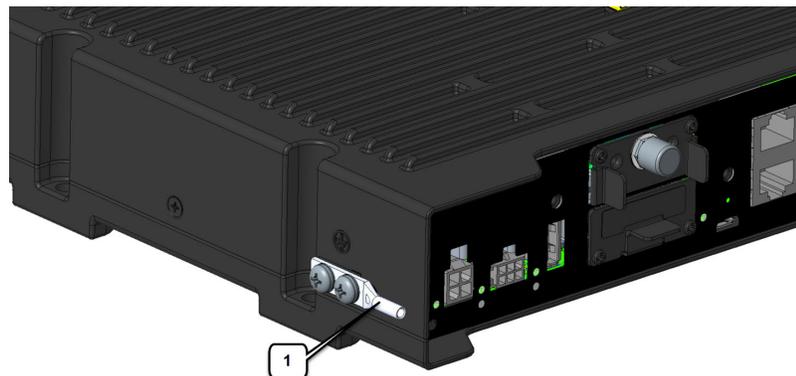
NEC 準拠の接地を行うためには、16 AWG (1.5 mm<sup>2</sup>) 以上の銅線と内径 1/4 インチ (5 ~ 6 mm) の丸端子を使用してください。

アース接続は次の手順で行います。

### 手順

- ステップ 1** アクセサリトレイにあるアースラグの位置を確認します。
- ステップ 2** アース線の片側を 5.56 mm (0.22 インチ) 剥がします。
- ステップ 3** 圧着工具を使用してアース ラグにアース線を圧着します。
- ステップ 4** 付属のネジを使用して、シャーシにアースラグ (1) を取り付けます。8 ~ 10 インチ ポンド (0.9 ~ 1.1 ニュートンメートル) のトルクでネジを締めます。次の図を参照してください。

図 5: シャーシアース接続部



1	アースラグ
---	-------

- ステップ 5** アース線の反対側の端を、確実にアースできる接地点に接続します。
- ステップ 6** このルータを車両で使用している場合は、付属のネジのいずれかと緑色の線または緑色と黄色のストライプの線を使用してシャーシに丸端子を取り付けます。車両アースに線のもう一方の端を接続します。

### 次のタスク

ルータの設置とアース接続が完了したら、必要に応じて、電源コード、LAN ケーブル、管理アクセス用のケーブルを接続できます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。